

20年目の葉山

村山市立葉山中学校
学校だより
第12号
令和5年10月6日

秋といえば…スポーツのすすめ

校長 富塚 義幸

9月は、たくさんの行事(=体験)を通じて一人一人が成長する実りある月でした。9日(土)・10日(日)は、10年ぶりに「湯野沢熊野大祭」が開催され、本校から生徒・教職員32名が奴笛、鹿の子笛、山車の曳手として渡御行列に参加しました。私は、42回目を数える大祭に参加できて幸せでした。これまで、コロナ禍で継続することの難しさを考えさせられる場面が多々ありました。また、少子化の影響を考慮しなければならない場面もありました。そのような状況下、地区の皆さんの熱意により、荘厳で盛大に大祭が行われました。機会を与えていただきありがとうございました。翌週からは、スポーツのイベントが目白押しでした。17日(日)、「第7回最上川 S-mile マラソン」が開催され、全校生がボランティアとして大会運営に携わりました。受付、記録掲示、表彰、ドリンク配布、記録チップ回収等に精一杯取り組みました。23日(土)・24日(日)、「北村山中学校新人総合体育大会」が開催されました。県新人北ブロック大会等への出場は、卓球女子団体、卓球女子個人：菊池詩夢さん・越前 柚さん、剣道男子個人：三浦蒼空さん・門脇玄治さん、剣道女子個人：仲嶋滯星さん・芦野樹里さん、陸上競技：笹原飛竜さん・青柳 健さん・笹原実音さん・石川絢音さんです。また、熱中症を考慮して延期した「秋季大運動会」を29日(金)に開催しました。正々堂々・全力で取り組む両軍の戦いに目頭が熱くなりました。閉会式での高橋 芽さん[3年]のメッセージを紹介します。



皆さん、お疲れさまでした。皆さんは、今日の運動会のためにとても頑張っていたと思います。皆さんは、先輩方の姿をみて運動会役員に挑戦したり、軍一丸となって練習してきたと思います。特に組頭を筆頭とする応援団、競技作戦部、装飾部、実行委員会の皆さんは、人一倍思いが強いのではないのでしょうか。「すべてが思い通りに進んだ」なんてことは少なかったと思います。たくさん話し合っ、今日の運動会を迎えています。私が実行委員長になった時、『皆さんの“記憶に残る運動会”を創る』と言いました。

大変だったこと、悔しかったこと、楽しかったこと、成長したこと…たくさんあったと思いますが、それらは全て思い出となり、私達が将来社会に出た時にも“記憶”として残っていると思います。たくさんチャレンジしたこの思い出は、これからの生活を送るための成長する材料となります。運動会までに経験したことを忘れないで、今後の学校生活を過ごしていきましょう。本当にお疲れ様でした。そして、この運動会に協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。

＝ 令和5年9月29日 運動会実行委員長：高橋 芽 ＝

家庭科の教科書にこんな文章があります。“心身ともに健康であるためには、栄養のバランスがとれた食事をする、適度な運動をする、十分な休養をとるといった生活習慣を身につけることが必要です。” 「食事＋運動(スポーツ)＋休養＝健康」を意識した生活を心がけましょう。10月9日(月)はスポーツの日です。

9月のアルバム ～ “その一瞬”に思いを込めて～

『一味同心 ～ つくる絆 出し切る全力 獲るNo.1 ～』のスローガンのもと開催された秋季大運動会。それぞれが思いを込めた9月のイベント“その一瞬”を特集します。

← 『秋季大運動会』



↓ 『湯野沢熊野大祭』

↓ 『最上川 S - m i l e マラソン』

↓ 『新人総体壮行式』

